

# 事業計画及び成長可能性に関する説明資料

**GMO** RESEARCH

GMOリサーチ株式会社

STOCK CODE : 3695

2024年3月

# 目次

1. 会社概要
2. 事業内容
3. 市場環境
4. 競争優位性
5. 2023年成長戦略の経過
6. 2024年成長戦略
7. リスク情報

# 1. 会社概要

---

# フィロソフィー

## 想いを、世界に GMOリサーチ

～私たちは、生活者と企業の「思い」に向き合い  
わくわくするアイデアやテクノロジーで「世界」につなぎ、  
笑顔・感動の創造に貢献する～

# 会社概要①

業界最大級のパネルネットワークと技術力を背景に、日本・アジアを中心にグローバルに市場調査・マーケティングで新しい価値を提供する会社

- ・ 設立日 2002年4月1日
- ・ パートナー数\*1 183人
- ・ 世界8拠点\*2で事業展開
- ・ 海外売上比率27%\*3

\*1 2024年1月1日時点 正社員数(連結)

\*2

□GMOリサーチ株式会社

- ・ 【本社】東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー
- ・ 【下関サテライトオフィス】山口県下関市細江町1丁目2-7 住友生命下関ビル
- ・ 【台湾駐在員事務所】台北市南京東路1段86号5F

□連結子会社

- ・ GMO-Z.COM RESEARCH PTE. LTD. (シンガポール)
- ・ GMO Z COM RESEARCH SDN. BHD. (マレーシア)
- ・ 技募驿动市场调查(上海)有限公司(中国)(GMO E-Lab Marketing Research (Shanghai) Co, Ltd.)
- ・ GMO-Z.COM RESEARCH PVT. LTD. (インド)
- ・ GMO-Z.COM RESEARCH USA, INC. (米国)

\*3 2023年12月期



## 会社概要②

安定成長企業  
4期連続増益\*1

世界での成長可能性と国内圧倒的シェア  
世界市場成長性19.8%\*3  
日本国内シェア67%(第1位)\*3

プラットフォーム戦略  
国内事業会社向け売上成長率43%\*1  
海外調査会社向け売上成長率11%\*1

将来有望市場で高品質なアンケート会員多数  
アジア16の国と地域のパネル数  
業界最大規模5,876万人\*2

業界トップクラスの収益力(生産性)  
一人あたり売上28百万円\*1

安定高配当  
配当性向50%以上  
(2023年61%予定)\*1

\*1 : 2023年12月期 \*2 : 2024年1月現在

\*3 : ESOMAR, *Evolution of the Data, Analytics and Insights Industry, A forecast into 2024*, JMRA第48回経営業務実態調査, 当社決算説明資料・有価証券報告書

# 社長紹介



代表取締役社長

**細川 慎一**

(Shinichi Hosokawa)

## 経歴

- 1973年** 香川県生まれ
- 1996年** 大学卒業後、在エチオピア日本国大使館勤務
- 1998年** 株式会社ケンウッド入社  
(シリコンバレーの事業所立上メンバーとして赴任)
- 2001年** アメリカ サンダーバード米国経営大学院 (MBA) 卒業
- 2001年** KPMGコンサルティング株式会社入社
- 2005年** GMOメディアソリューションズ株式会社入社  
新規事業開発室長としてリサーチ事業立上  
同年リサーチ事業スピンアウト
- 2006年** GMOリサーチ株式会社代表取締役社長就任
- 2013年** 中国、インド法人設立 役員就任
- 2014年** シンガポール法人設立、役員就任、東証マザーズ上場
- 2017年** マレーシア法人設立、役員就任
- 2019年** シンガポール移住
- 2022年** 米国法人設立、役員就任

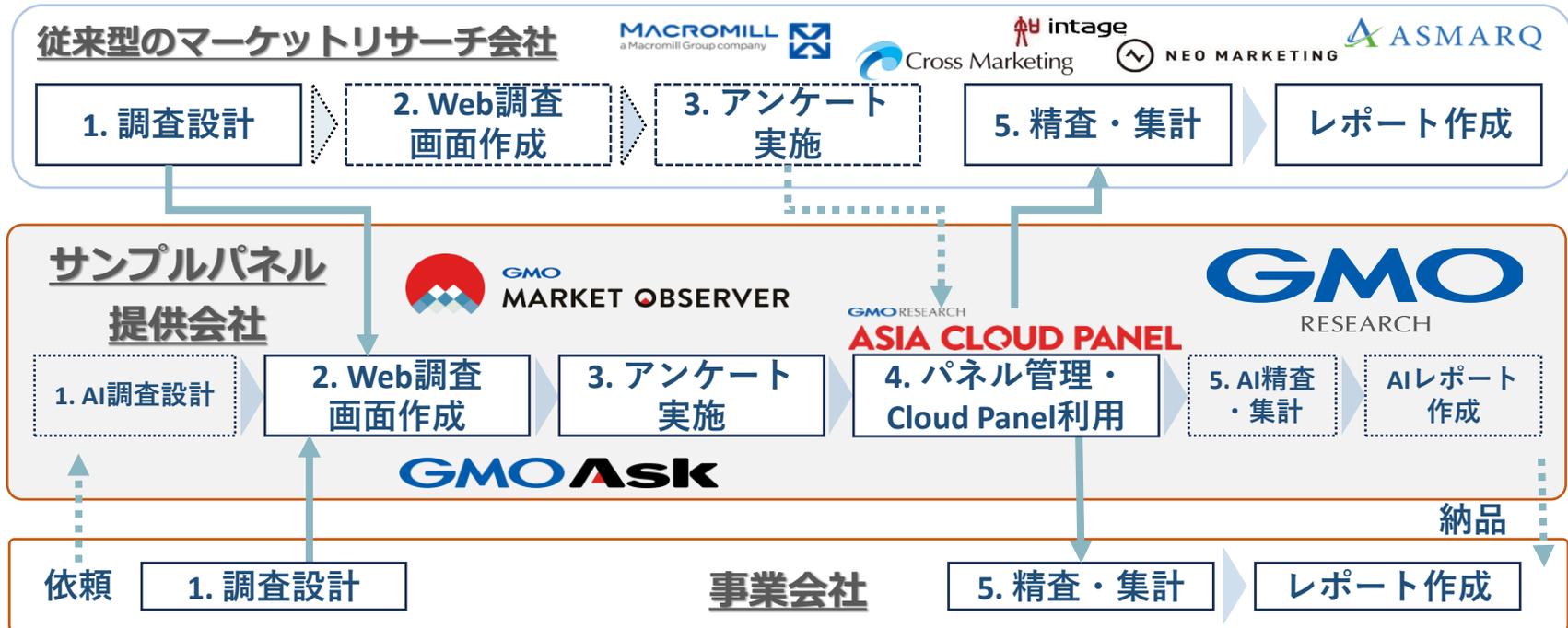
世界で戦ってダントツNo.1になれるグローバル企業となることを目指しております

## 2. 事業内容

---

# 事業内容 | ユニークなビジネスモデル

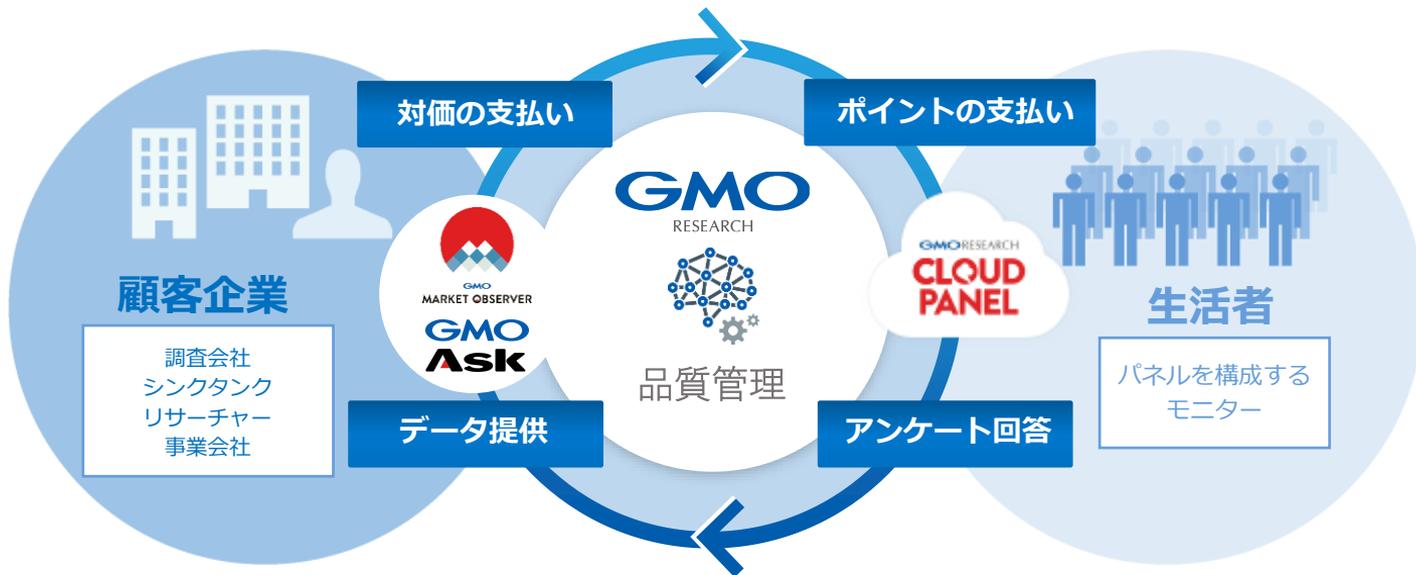
- 調査会社(マーケットリサーチ会社) にサンプルパネルとシステムを提供するビジネスモデル。業界最大規模のパネルネットワーク活用により、高い収益力が実現。さらに、調査会社向けに培ったパネル提供システムを事業会社への提供で、さらなるパネル活用と販売効率化が実現。



# 事業内容 | 消費者の声を企業に届けるプラットフォーム

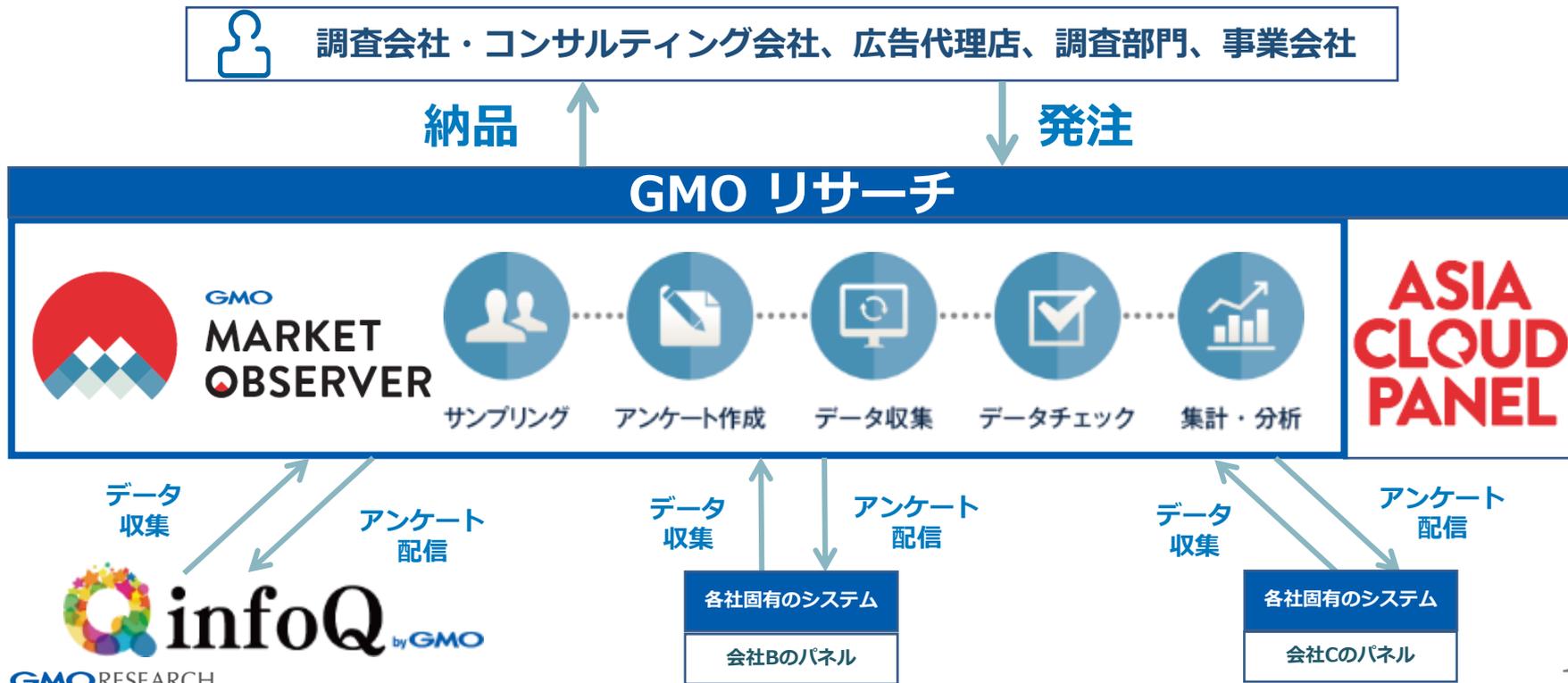
- アンケート調査を行う顧客企業とアンケート調査に回答するモニター(消費者)を繋げるプラットフォームを提供。

## Audience Engagement Platform



# 事業内容 | 調査会社向けプラットフォーム : Market Observer

- 顧客メリットとして、従来各社ごとに開発されていたインターネットリサーチツールを標準化し、低コストで提供。



# 事業内容 | 事業会社向けプラットフォーム : GMO Ask

- 自分でアンケートを作成し配信まで行える完全D.I.Y型アンケートプラットフォーム。



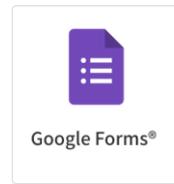
国内TOPクラスの  
アンケートモニター  
約2,500万人



サンプル提供可能数  
検索機能



「1問×1回答×10円」



Google Forms®



GMO  
Ask

オリジナル  
フォーム

GoogleFormsまたは  
GMO Ask内で設問作成

⇒ 市場の小型・ライトリサーチ需要の増加に合わせ、手軽なセルフ・サービスプラットフォーム活用へ



GMO RESEARCH

## ■注目機能ポイント

・ AI活用機能「調査票AIサポート (β版)」を搭載

⇒ OpenAIが提供する「ChatGPT API」を活用し、AIが調査票の案を作成することで、ユーザーの作業を補助・効率化する機能

# 事業内容 | 消費者側プラットフォーム : Asia Cloud Panel

- 会員を持つ企業にアンケートコンテンツを提供。

依頼日	アンケートNO.	アンケート名	謝礼ポイント	状況
2021/04/23	900615	WELCOMEアンケート	1ポイント	回答する

GMO RESEARCH  
**ASIA CLOUD PANEL**  
調査配信

## ■ 注目機能ポイント

- ・ 独自テクノロジーを駆使した品質管理  
⇒ **Ghost Completes** を搭載  
不正回答を排除  
→ 事業の信頼性回復 & コスト改善

一般ユーザー



報酬を獲得

Ghost Completes



報酬を獲得

# 事業内容 | 消費者側プラットフォーム : Asia Cloud Panel

- アジア16の国と地域で**5,876万人超**の業界最大規模のパネルネットワークを構築。
- 大型・複数ヶ国にまたがる案件に対応可能で、競争力、提案力を向上。
- 競争力の源泉であるアジアクラウドパネルを質量ともにさらに充実させることで、アジアの調査対応地域の深耕とエリアの拡大を実現。

 infoQ by GMO <https://infoq.jp/>

 日本  
**28,222,000**

 中国大陸  
**19,155,000**

 infoQ by GMO <https://infoq.vn/>

 ベトナム  
**1,022,000**

 韓国  
**822,000**

 Z.com Research <https://knowledgeprovider.z.com/>

 インド  
**792,000**

 香港  
**45,000**

 Z.com Research <https://mm.zresearch.asia/>

 ミャンマー  
**26,000**

 台湾  
**981,000**

 Z.com Research <https://research.z.com/th/>

 タイ  
**886,000**

 インドネシア  
**3,836,000**

 Z.com Research <https://sg.research.z.com/>

 シンガポール  
**56,000**

 アラブ首長連邦  
**300**

 フィリピン  
**1,469,000**

 オーストラリア  
**112,000**

 マレーシア  
**1,325,000**

 ニュージーランド  
**12,000**

アジア**16**の国と地域

**5,876** 万人

(2024年1月現在)

# 事業内容 | サービス種別と対応商品

サービス種別		対応商品
アウトソーシング サービス	Full Service	
	Sample Supply	
D.I.Yサービス	Self Sample Supply	 
	システム関連売上	
その他サービス	-	- (オフライン調査)

**MO Survey byGMO** : 消費者への定量調査をオンラインで完結できるクラウドソリューション。

**MO Insights byGMO** : 消費者への定性調査をオンラインで完結できるクラウドソリューション。

**GMO Ask** : 発注からアンケート完了までの一連の手続きをオンライン上で完結できる完全D.I.Y型アンケート調査ツールサービス。  
(国内で展開)

**GMO Market Observer** : 当社グループが開発・提供しているインターネット上でリサーチ業務のすべてを完結できるリサーチソリューションプラットフォームの総称であり、「Market Observer」は当社の登録商標（登録番号5671869号）

(注) 以下の2つのサービスは、以下の理由により、サービス種別・対応商品表から削除。

**MO Lite アンケート byGMO** : GMO Askとしてリニューアル。

**MO Lite インタビュー byGMO** : 2023年9月サービス停止。

# 事業内容 | サービス別業務受託範囲

		アウトソーシングサービス		D.I.Yサービス	
		Full Service	Sample Supply	Self Sample Supply	システム関連 売上
業務工程	サービス名称				
	1. 調査設計	顧客	顧客	顧客	顧客 (*1)
	2. 調査画面作成	GMO Research	顧客	顧客	
	3. プロジェクト マネジメント	GMO Research	GMO Research	顧客	
	4. パネル管理	GMO Research	GMO Research	GMO Research	
	5. Cloud Panel利用	GMO Research	GMO Research	GMO Research	

(\*1) お客様により、当社のCloud Panelをご利用にならない場合も含む。

# 事業内容 | 商品と顧客セグメントの関係

- 商品と顧客セグメント（調査会社／一般事業会社）の対応関係は下記の通り。

		主なお客様	
		調査会社*1	一般事業会社*2
商品 ラインナップ		●	●
		●	●
		●	●
			● (日本のみ)

\*1 調査会社には、調査会社、シンクタンク、コンサルティング会社等を含む。 \*2 一般事業会社には、学校や官公庁を含む。

# 事業内容 | 顧客企業例

- 大手調査会社等の調査を専門とする企業を中心とし、そのほかリサーチニーズのある一般事業会社様まで、当社サービスを提供。



KANTAR



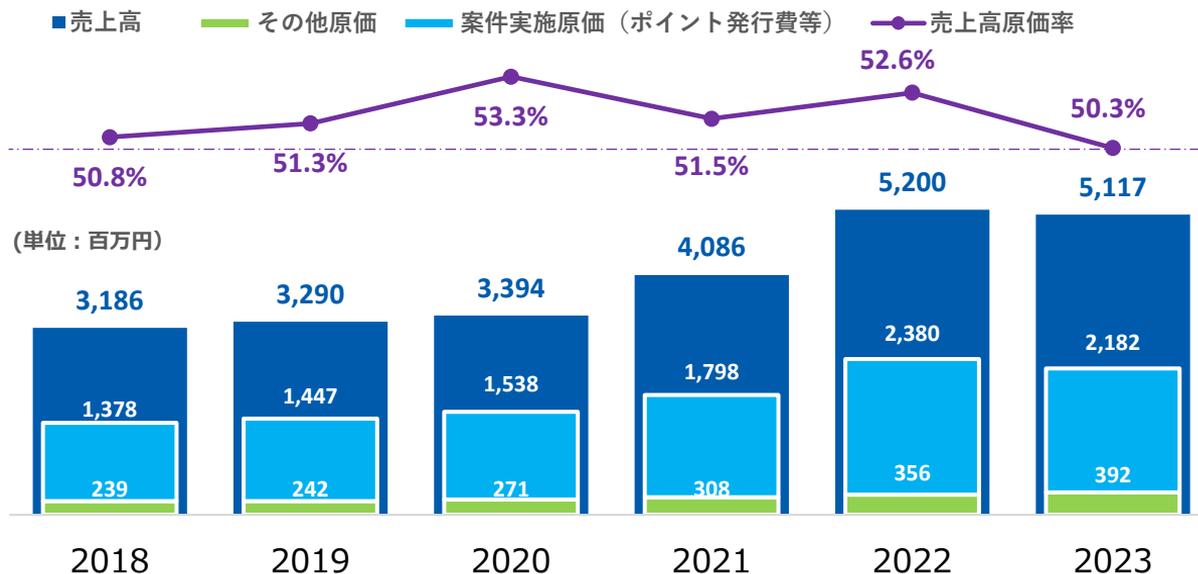
Cint

ByteDance



# 事業内容 | コスト構造

- 販売先フォーカス変更により原価率が改善し、前年比2.3ポイント低下の50.3%。
- 過去6年で最も低い水準。特に、第3四半期以降、前年比改善度拡大し、第4四半期は前年比▲4.9ポイント。



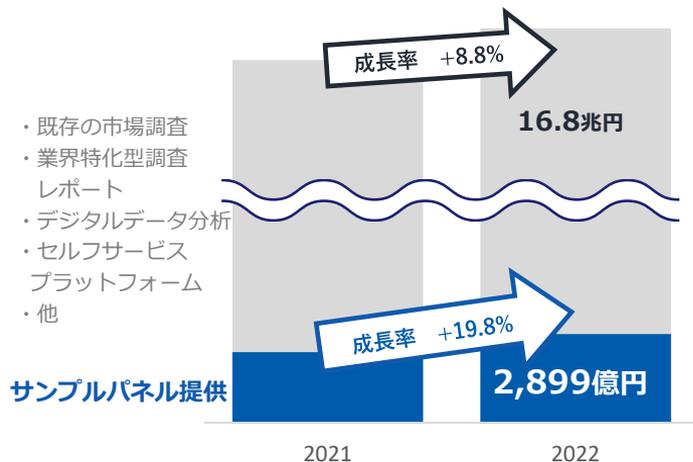
## 3. 市場環境

---

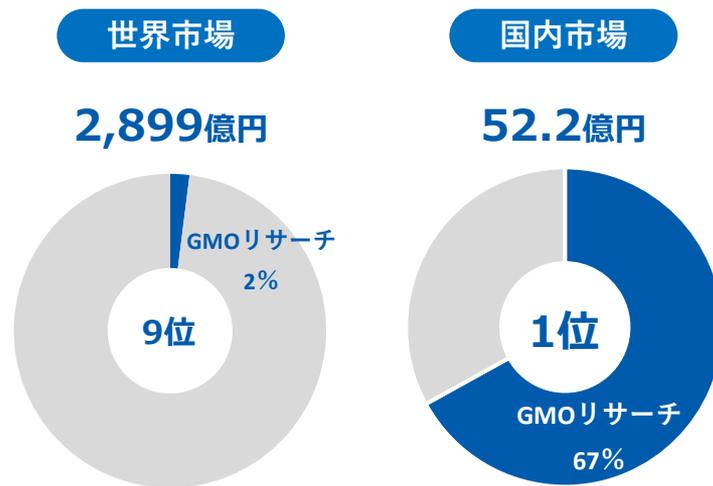
# 市場環境 | 世界のリサーチ市場規模と当社のポジション

- 世界サンプルパネル市場は**成長率19.8%**とリサーチ市場全体の伸び率を11pt上回る。
- 同市場における当社シェアは、**日本67%(1位)、世界2%(9位)**

## 世界データ分析・インサイト（従来のリサーチ）市場



## サンプルパネル提供市場



USD/JPY=130円

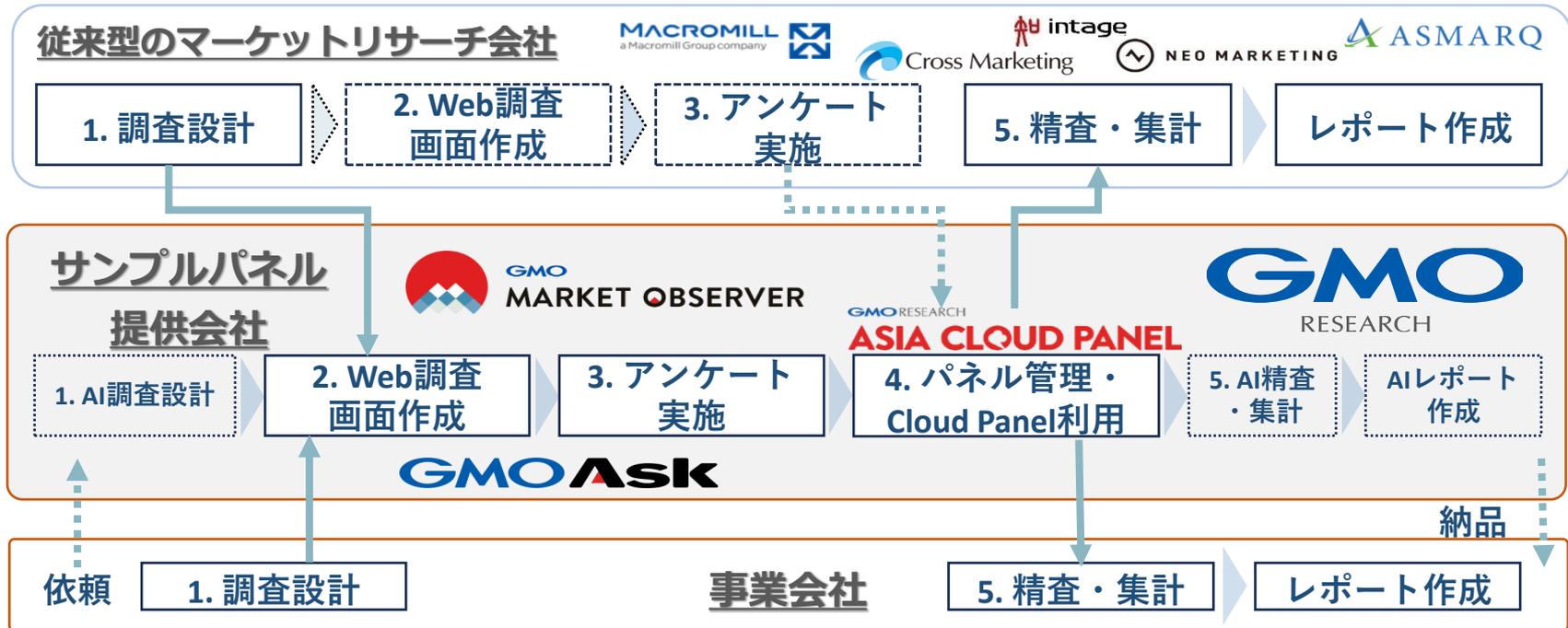
出所) ESOMAR, Global Market Research 2023, Evolution of the Data, Analytics and Insights Industry, A forecast into 2024, JMRA第48回経営業務実態調査, 当社有価証券報告書

## 4. 競争優位性

---

# 競争優位性 | ポジションの特異性

- 調査会社(マーケットリサーチ会社) にサンプルパネルとシステムを提供する特異なポジション。業界最大規模のパネルネットワーク活用の効率性により、高い収益力が実現。さらに、調査会社向けで培ったパネル提供システムを事業会社への提供で、さらなるパネル活用と販売効率化が実現。



# 競争優位性 | パネルネットワーク

- アジア16の国と地域で**5,876万人超**の業界最大規模のパネルネットワークを構築
- 大型・複数ヶ国にまたがる案件に対応可能で、競争力、提案力を向上
- 競争力の源泉であるアジアクラウドパネルを質量ともにさらに充実させることで、アジアの調査対応地域の深耕とエリアの拡大を実現。

 infoQ by GMO <https://infoq.jp/>

 日本  
**28,222,000**

 中国大陸  
**19,155,000**

 infoQ by GMO <https://infoq.vn/>

 ベトナム  
**1,022,000**

 韓国  
**822,000**

 Z.com Research <https://knowledgeprovider.z.com/>

 インド  
**792,000**

 香港  
**45,000**

 Z.com Research GMO-Z.com ACE Co., Ltd. <https://mm.zresearch.asia/>

 ミャンマー  
**26,000**

 台湾  
**981,000**

 Z.com Research Net Design <https://research.z.com/th/>

 タイ  
**886,000**

 インドネシア  
**3,836,000**

 Z.com Research <https://sg.research.z.com/>

 シンガポール  
**56,000**

 アラブ首長連邦  
**300**

 フィリピン  
**1,469,000**

 オーストラリア  
**112,000**

 マレーシア  
**1,325,000**

 ニュージーランド  
**12,000**

アジア**16**の国と地域  
**5,876**万人

(2024年1月現在)

# 競争優位性 | パネル品質

- 独自テクノロジーを駆使し、不正回答を排除することで、高い品質を実現。今後は、さらにAI活用による不正回答排除により、さらに事業の信頼性とコスト改善。

会員保有会社  
(日本・アジア)

GMOポイント

現在のポイント数 0 ヘルプ | GMO ID設定  
ログアウト

トップ ためる・つかう GMOポイントアンケート GMOポイントモール ポイント通報

アンケートに答えてポイントを貯めよう!

1. 新着アンケートをチェック!  
アンケートの配信は不定期です。  
こまめにチェックしよう!
2. アンケートに回答する  
完了ボタンをクリックして、  
アンケートを選んで
3. ポイントが貯まる!  
回答完了して  
ポイントGET!

毎日お昼の12時に  
新着クーポンが登場!  
おトクなクーポン購入サイト

くまホン

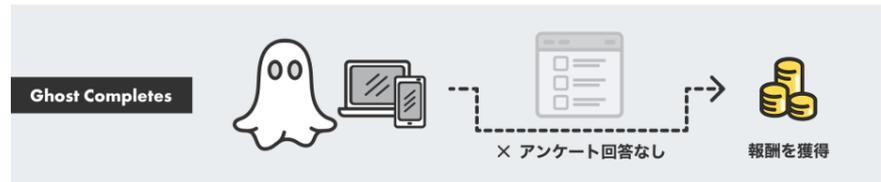
アンケート

依頼日	アンケートNO.	アンケート名	贈礼ポイント	状況
2021/04/23	900615	WELCOMEアンケート	1ポイント	回答する

GMO RESEARCH ASIA CLOUD PANEL 調査配信

## ■注目機能ポイント

- ・ 独自テクノロジーを駆使した品質管理  
⇒ **Ghost Completes** を搭載  
不正回答を排除  
→ 事業の信頼性回復 & コスト改善



# 競争優位性 | スペシャルパネル

- 性別や年齢などの基本属性情報に加えアンケート回答データを元に趣味嗜好や自動車家電の保有状況、疾患などをデータベース化しアンケートのターゲティング配信を実現。さらに、蓄積される豊富なアンケート回答のデータベースは、AI活用によるパネルの負荷軽減などの競争優位性の源泉。



最適な  
ターゲティング配信



無駄打ちなし！  
効率的でスピーディー  
コスト削減にも！



スペシャルパネル利用の  
追加料金は一切なし！

## スペシャルパネル属性

自動車保有率

オートバイ保有者

家電製品

携帯電話

お酒

タバコ

化粧品

キッズ（子供を持つ親）

学生

ビジネスパーソン

住宅

金融・資産

トラベル

ペット

## BtoBパネル属性

ビジネスパーソン

職種

業種

年収

職位

決裁権

勤務先の年商

従業員数

- アンケートの回答をデータベース化。  
→蓄積される豊富なデータが毎年更新。定期メンテナンスにより、高品質が継続

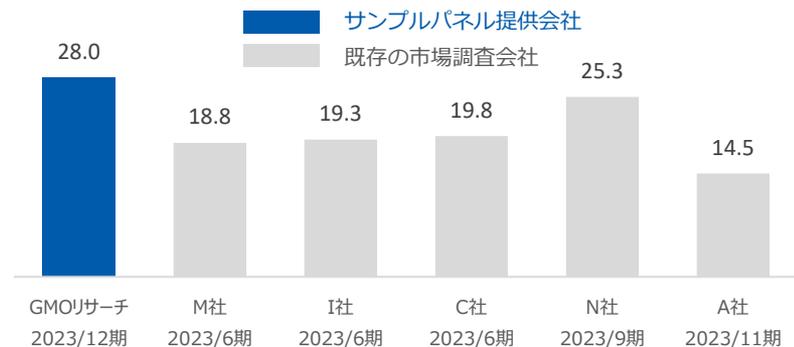
# 競争優位性 | 業界トップクラスの収益力

- 当社が属するサンプルパネル提供会社は既存の市場調査会社(\*1)とは業態が違い、収益力(一人あたり売上高)が高く、スケールメリットが出やすい業態。AI生産性の劇的な向上により、今後も増加継続。

## 一人あたり売上高 (\*2)(\*3)

(単位：百万円)

### 他社比較



(単位：百万円)

### 当社実績と今後の方針

平均成長率(CAGR)  
8.3% (2019年-2023年)



(\*1) 日本国内で上場するマーケティングリサーチサービスの提供会社  
M社：株式会社マクロミル  
I社：株式会社インテージホールディングス  
C社：株式会社クロス・マーケティンググループ  
N社：株式会社ネオマーケティング  
A社：株式会社アスマーク

(\*2) 比較対象会社の財務数値につきましては、各社が公表している有価証券報告書・四半期報告書に記載の数値によっております。

(\*3) 従業員数を使用して計算しております。

## 5. 2023年成長戦略の経過

---

# 2023年成長戦略の経過 | 決算サマリー

- 売上高：ほぼ前年並み。
- 売上総利益：粗利率の大幅改善。
- 営業利益：プラットフォーム組織への組織体制構築も含め、増益。

(単位：百万円)	2022 (1-12月)	2023 (1-12月)	増減額	増減率
売上高	5,200	<b>5,117</b>	▲83	▲1.6%
売上総利益	2,463	<b>2,542</b>	+78	+3.2%
営業利益	419	<b>440</b>	+20	+5.0%
経常利益	458	<b>428</b>	▲29	▲6.5%
最終利益	356	<b>307</b>	▲49	▲13.8%

過去最高  
通期

# 2023年成長戦略の経過 | 下半期からの戦略変更と成果

## 事業環境認識

- 業界全体のトレンド変更と特殊要因の影響
  - リサーチ業界における、事業会社内によるAIを活用した調査設計やレポートを内製化するトレンド
  - 資本再編等の影響による特定大型案件の減少や当社内の高原価案件の絞り込み

## 戦略変更

- 上記の事業環境認識に基づき、2023年下半期から販売先フォーカスの変更施策を実施。
  - 国内は、従来の調査会社向けに加え、事業会社向けを強化
  - 海外は、従来のグローバルパネル会社向けに加え、調査会社向けを強化

## 成果

- 売上全体は前年比▲1.6%だが、国内事業会社向け販売は +43%、海外調査会社向けは +11%を実現。また、粗利率の高い国内事業会社向け、海外調査会社向けが増加したため、全体粗利率は +3%

# 2023年成長戦略の経過 | 下半期より販売先フォーカスの変更実施

国内

調査を内製化できるAIを活用したリサーチサービスの提供により、事業会社等の直接販売を拡大し、粗利率向上

海外

AI活用による案件単位の細やかな収益性を加味した受注判断により、調査会社の売上がさらに伸び、粗利率向上

事業会社（アジア調査内製化率：2021年41%→2023年50%）

\*AIで調査設計、レポート内製化

注力

粗利率  
74%\*

粗利率  
59%\*

注力

粗利率  
51%\*

グローバルパネル会社

粗利率  
37%\*

調査会社（調査設計+レポート） | 既存の市場調査市場

国内シェア 67% 1位

世界シェア 2% 9位

GMO Ask



GMO RESEARCH

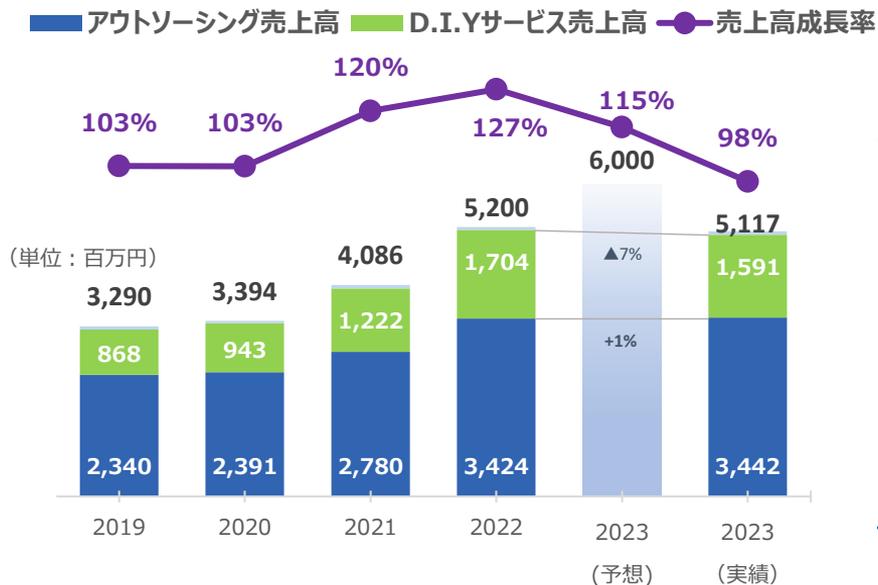
サンプルパネル提供市場

AI機能を拡充し、内製化の後押し

AI機能を拡充し、業界全体の生産性・付加価値向上

# 2023年成長戦略の経過 | サービス別売上高の成長進捗・結果

- D.I.Yサービスの取り組み状況及び結果は以下の通り。2023年下半期から、業界全体のトレンド変更と特殊要因の影響(\*1)により、販売先フォーカス変更を実施。D.I.Yサービス導入が当初難しい事業会社向け販売への注力により、D.I.Yサービス成長率は低下

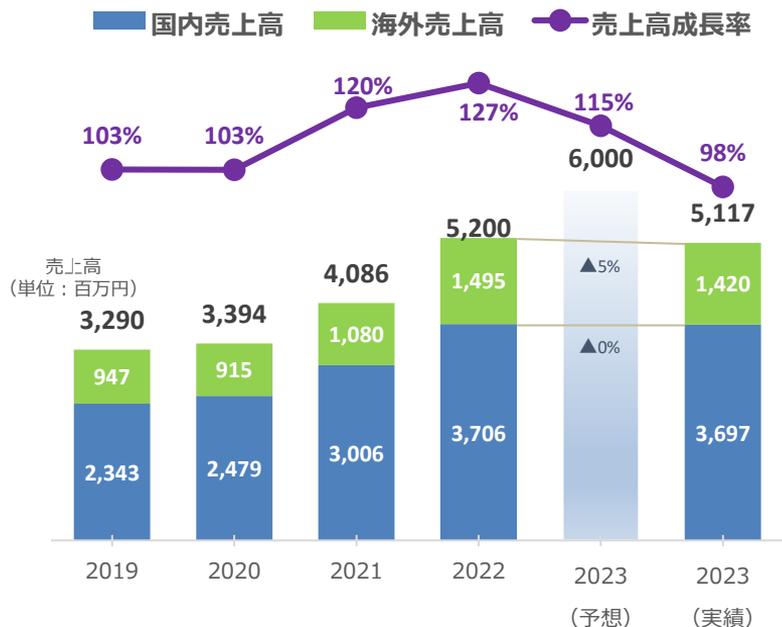


2023年成長施策	成長進捗・結果
売上高成長率 ・全体で15%程度を想定。 D.I.Yサービスの高成長率を想定。	実績 ・全体で▲2% ・D.I.Yサービスは▲7%

(\*1): P30「2023年成長戦略の経過 | 下半期からの戦略変更と成果」ご参照ください

# 2023年成長戦略の経過 | 国内・海外売上高の成長進捗・結果

- 国内・海外別売上高の推移（2023年予想値及び実績値）や成長施策の取り組み状況及び結果は以下の通り。



(\*1): P30「2023年成長戦略の経過 | 下半期からの戦略変更と成果」ご参照ください。

2023年成長施策	成長進捗・結果
<b>売上高成長率</b> ・国内・海外ともに15%程度を想定。	<b>実績</b> ・国内売上▲0%、 海外売上▲5% 業界全体のトレンド変更と特殊要因の影響(*1)があり、販売先フォーカスの変更を実施しました。この施策により、国内事業会社向けは +43%、海外調査会社向けは +11%。
<b>国内売上上の成長施策</b> ① 顧客サイドAPI接続数拡大 ② 事業会社向けサービスに注力	① 前年と同水準。販売先フォーカスの変更の影響。 ② 事業会社向け販売は 対前年 +43%。
<b>海外売上上の成長施策</b> ① 顧客サイドAPI接続数拡大 ② パネルサイドAPI接続数拡大 ③ 営業強化	① 前年と同水準。 ② 対前年+34% ③ 業界経験者の採用含め、営業人員の補強を実施

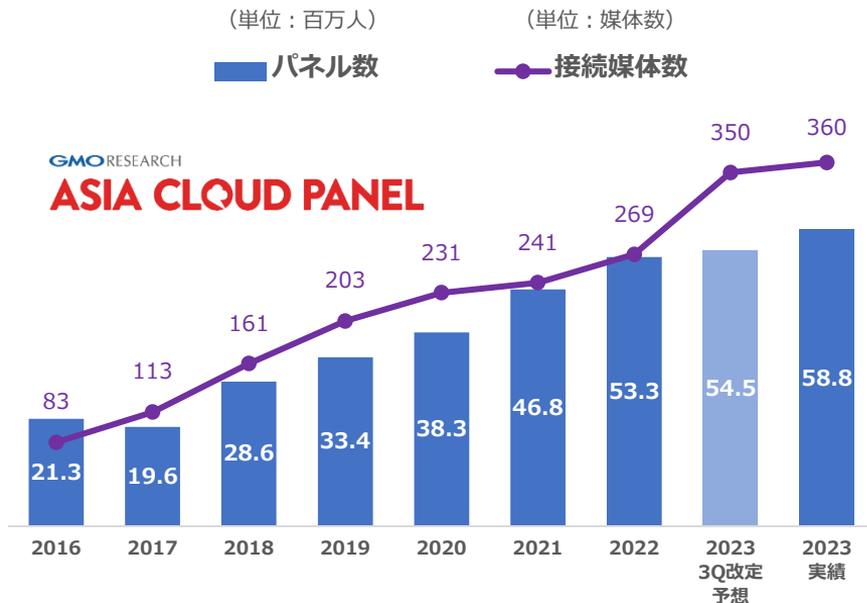
# 2023年成長戦略の経過 | Audience Engagement Platform

## Audience Engagement Platform



# 2023年成長戦略の経過 | ①パネルサイドAPI接続数

- 競争力の源泉であるアジアクラウドパネルとAPI接続媒体数の取り組み状況及び結果は以下の通り



## 2023年成長施策

## 成長進捗・結果

### ①API接続媒体数

- ・期初予想350  
(成長率20%想定)

- ・実績360  
対期初予想 約+3%  
対前年 約+34%

### ②アジアクラウドパネル

- ・2023年3Q改定予想  
5,450万人  
(成長率2%想定)

- ・実績  
5,880万人  
対3Q改定予想 約+8%  
対前年 約+10%
- 積極的に提案をしていた  
各媒体の契約オファーが  
増加し、順調に接続が進捗。

# 2023年成長戦略の経過 | ②顧客サイドAPI接続数

- アジアクラウドパネルへ接続している顧客数(\*1)とD.I.Yサービスの取り組み状況及び結果は以下の通り。2023年下半年期から、業界全体のトレンド変更と特殊要因の影響(\*2)により、販売先フォーカス変更を実施。D.I.Y導入が当初難しい事業会社向け販売への注力により、D.I.Yサービス成長率は低下。

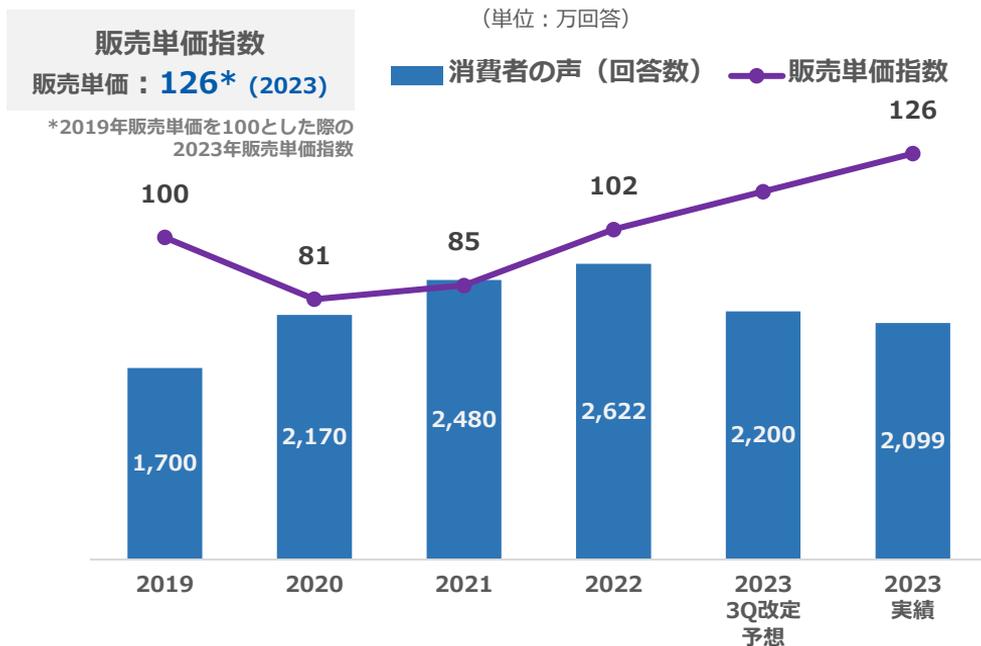


(\*1) アジアクラウドパネルへAPI接続している顧客及び当社Market Observerを利用する顧客  
 (\*2) P30「2023年成長戦略の経過 | 下半期からの戦略変更と成果」ご参照ください。

2023年成長施策	成長進捗・結果
①アジアクラウドパネルへ接続している顧客数(*1) ・期初予想127 (成長率+8%想定)	・実績118 対期初予想 約▲7% 対前年 約+1%
②D.I.Yサービス売上高 ・2023年3Q改定予想 1,569百万円 (成長率▲8%想定)	・実績 1,591百万円 対3Q改定予想 約+1% 対前年 約▲7%

# 2023年成長戦略の経過 | ③消費者の声（回答数）

- 世界の企業へ届けた消費者の声（回答数）の取り組み状況及び結果は以下の通り。



## 2023年成長施策

消費者の声  
（回答数）

- ・ 2023年3Q改定  
予想2,200  
（成長率▲17%想定）

## 成長進捗・結果

- ・ 実績 2,099  
対3Q改定予想 約▲5%  
対前年 約▲20%

消費者の声の数は、希少価値の高い消費者の声を集める案件の増加により、回答数の伸びが抑えられた一方で、販売単価は対前年23%上昇。

特に下半期で高単価プロジェクトへのシフトが急速に進んだことが、販売単価上昇をより後押し。

## 6. 2024年成長戦略

---

# 2024年業績予想 | 売上高・営業利益・最終利益の予想

✓ 需要構造変化の動きに伴い：

✓ 国内：事業会社向け直接販売の強化・海外：グローバル調査会社への直接販売

✓ 売上増および粗利率改善による増収増益を見込む

(単位：百万円)	2023 実績	2024 予想	増減額	増減率
売上高	5,117	5,746	+629	+12.3%
営業利益	440	502	+62	+14.1%
最終利益	307	342	+35	+11.4%

# 2024年成長戦略 | 販売先フォーカスの変更戦略の継続

国内

調査を内製化できるAIを活用したリサーチサービスの提供により、事業会社等の直接販売を拡大し、粗利率向上

海外

AI活用による案件単位の細やかな収益性を加味した受注判断により、調査会社の売上がさらに伸び、粗利率向上

事業会社（アジア調査内製化率：2021年41%→2023年50%）

\*AIで調査設計、レポート内製化

調査会社（調査設計+レポート）

既存の市場調査市場

国内シェア 67% 1位

世界シェア 2% 9位

グローバルパネル会社

注力

粗利率  
74%\*

粗利率  
59%\*

注力

粗利率  
51%\*

粗利率  
37%\*

GMO Ask

GMO MARKET OBSERVER

GMO RESEARCH

サンプルパネル提供市場

AI機能を拡充し、内製化の後押し

AI機能を拡充し、業界全体の生産性・付加価値向上

# 2024年成長戦略 | KPIの変更について

- 2023年に設定したKPIは、D.I.Yサービス成長を軸として以下5点設定しておりましたが、2023年下半期より実施しております「販売先フォーカス変更」戦略のため、2024年度のKPIは、当戦略に直接関連する項目のみに絞ることといたしました。従い、以下の2023年度KPIは開示項目から除外いたします。

## 2023年度KPI

- ①パネルサイドAPI接続数
- ②顧客サイドAPI接続数
- ③消費者の声（回答数）
- ④サービス別売上高
- ⑤国内・海外売上高推移

## 2024年度KPI

- ①国内・海外売上高
- ②国内販売先別売上高  
（事業会社向け・調査会社向け）
- ③海外販売先別売上高  
（調査会社向け・グローバルパネル会社向け）

# 2024年成長戦略 | 売上高サマリ

- 販売先別の売上高成長率を重要な経営指標として設定
  - ・ 国内売上の成長施策：事業会社向け販売の拡大
  - ・ 海外売上の成長施策：調査会社向け販売の拡大

※以下、単位百万円ベース



(\*1) 業界全体のトレンド変更・特殊要因が年間約5.3億円含まれており、それらの影響を除くと+109%

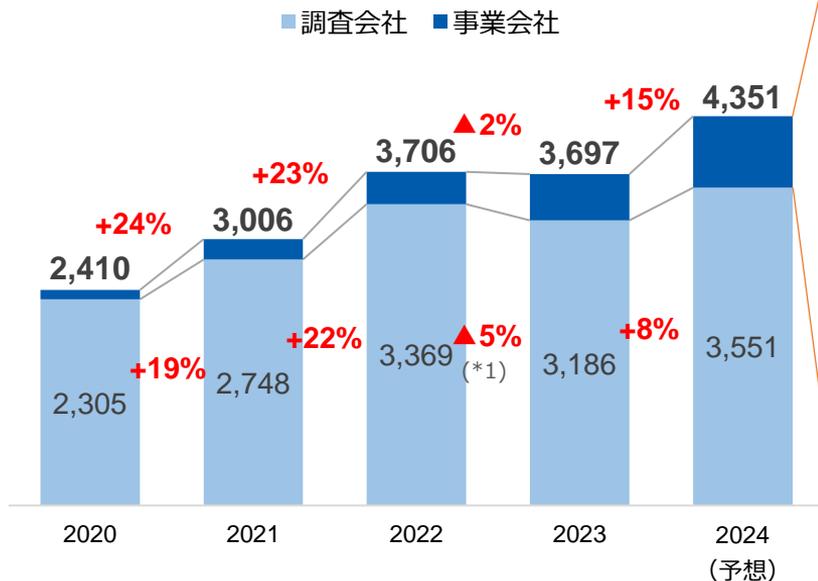
(\*2) 2024年予想の為替は、\$1=130円想定にて算出

# 2024年成長戦略 | 国内の成長シナリオ

- 国内は、プラットフォームを主軸にした事業会社向け売上を拡大

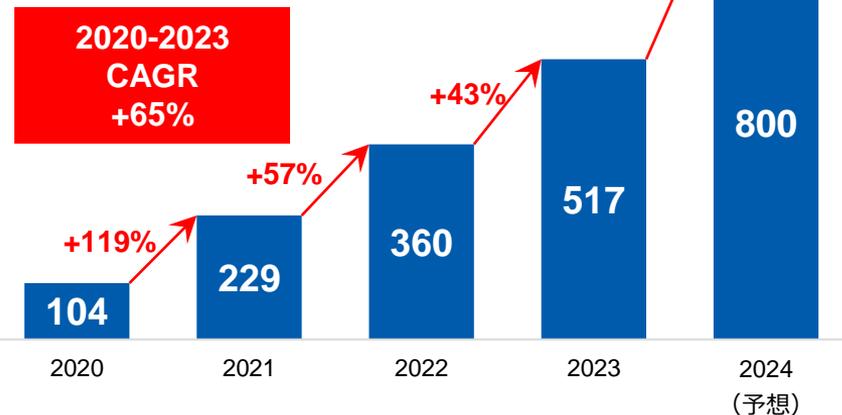
※以下、単位百万円ベース

## 国内 売上高推移 (単位：百万円)



## 事業会社向け 売上高推移

専任チームの倍増及び、調査会社で実施している調査設計・レポート作成機能をAIを活用し自社で実施する事で、今後も更なる成長を継続。



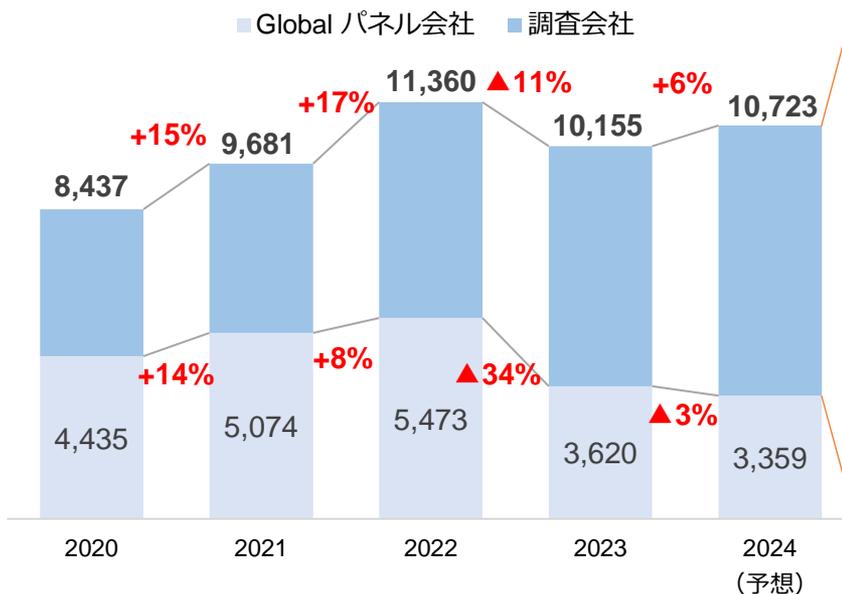
(\*1) トレンド変更・特殊要因の影響が約3.2億円含まれており、それを除けば+4%

# 2024年成長戦略 | 海外の成長シナリオ

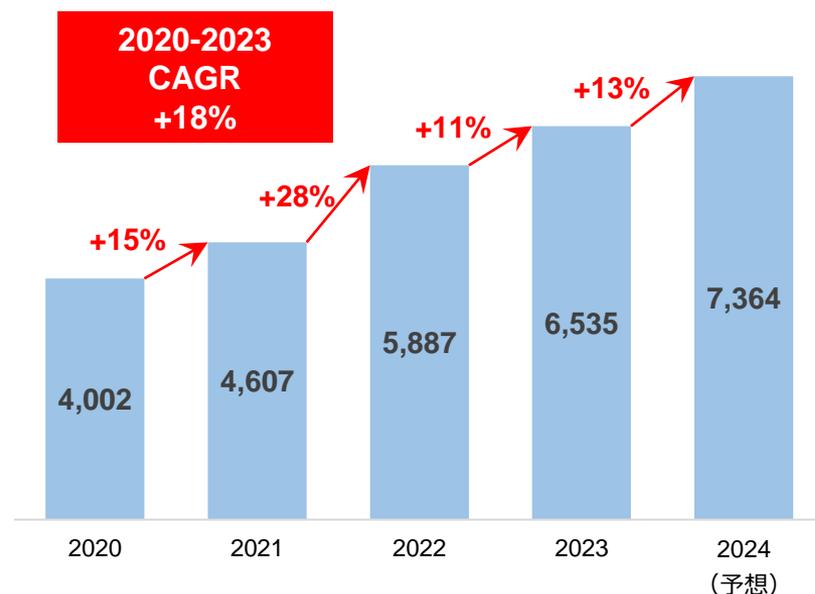
- 海外はグローバル調査会社への直接販売で売上を拡大

※以下、単位千USDベース

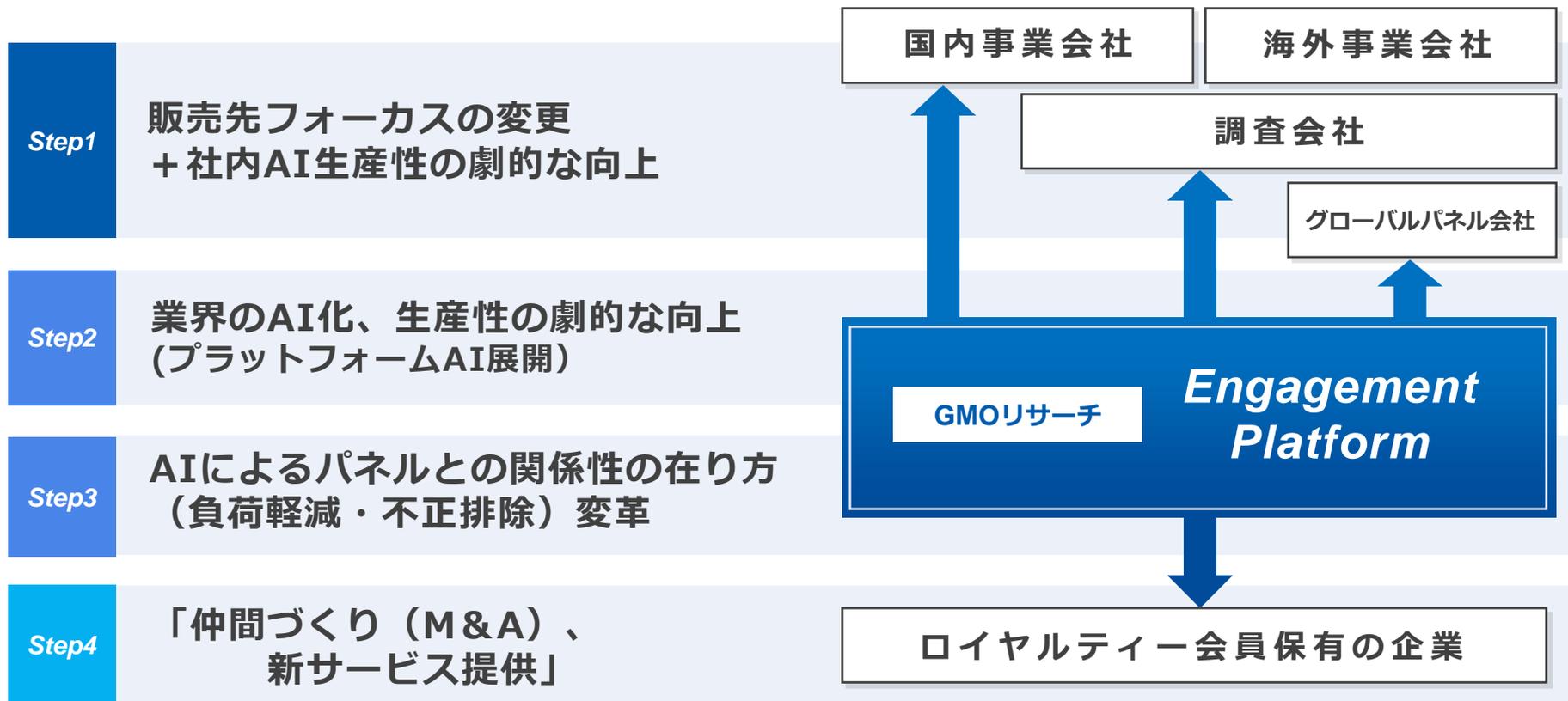
## 海外売上高推移 (単位：千USD)



## 調査会社向け売上高推移



# 2024年成長戦略 | 今後の成長ステップー概略



# 2024年成長戦略 | 今後の成長ステップー時間軸



## 7. リスク情報

---

# 主要なリスクに関する情報 (1/2)

- 当社グループの成長の実現や事業計画の遂行に重要な影響を与える可能性があるとして認識する主要なリスクは以下の通りです。

※ 投資者の判断に特に重要と当社グループが考える事項について記載しています。本項の記載内容は当社株式の投資に関するすべてのリスクを網羅しているものではありません。当社グループはこれらのリスクの発生可能性を認識したうえで、発生回避および発生した場合の迅速な対応に努める方針です。本項記載以外のリスクについては、当社グループの有価証券報告書、「第一部【企業情報】」「第2【事業の状況】」「2【事業等のリスク】」をご参照ください。

	発生可能性 発生時期	成長の実現や事業計画の遂行に与える影響	リスクの内容と対応策
市場の成長	小	● 売上成長の鈍化	インターネットリサーチの市場規模は、従来の調査手法等からの切り替えなどの要因により、順調に成長を継続しておりますが、インターネットリサーチニーズの飽和等の何かしらの要因により、市場規模の成長が鈍化するリスクがあります。当該リスクに対し、当社グループは、インターネットリサーチの普及度がより低く今後のより高い成長が見込まれるアジアを中心とする海外市場でのシェア拡大に取り組んでおります。
	常時		
競争	中	● シェアの低下 ● 販売単価の下落	インターネットリサーチ事業において大きな参入障壁がないことにより、他の事業者による新規参入や事業拡大のリスクがあります。当該リスクに対し、当社グループは、アジア最大規模の調査用パネルであるアジアクラウドパネルを構築するとともに、パネルシステムの提供に特化することで、競争企業に対する独自性と差別化および優位性の構築を行っております。当社グループは、競争力の源泉であるアジアクラウドパネルのさらなる強化とパネル提供システムの改良に努めることで、当社グループの独自性と優位性の強化に取り組んでおります。
	常時		

(続く)

# 主要なリスクに関する情報 (2/2)

(続き)

	発生可能性 発生時期	成長の実現や事業計画の遂行に与える影響	リスクの内容と対応策
特定業界・顧客への集中	中	● 売上高の減少	当社グループの売上高の多くは、調査会社への売上となっております。当社グループは、当社のプラットフォームの信頼性や安全性の強化、提供サービスの多様化を図り、顧客基盤を拡大することで、特定業界・顧客への集中リスクの低減に努めております。
	常時		
ネット調査用パネルの回収力と品質	低	● 売上高の減少 ● 仕入単価上昇	当社グループのネット調査用パネル（アジアクラウドパネル）は、自社運営パネルと複数の提携パネルによって構築されております。何らかの事情により、提携パネルの利用が困難になると、回答回収力が低下する可能性があります。また、調査用パネルの回答品質について、何らかの理由により回答品質を確保できないと追加調査等により追加原価が発生するリスクがあります。当社グループは、既存のクラウドパネルパートナーとの関係強化や新規のクラウドパネルパートナーの開拓に取り組むとともに、回答品質向上のため、品質管理基準に基づく回答品質の確保に取り組んでおります。
	常時		
個人情報流出	低	● 損害賠償請求 ● 社会的信用の失墜	当社グループは、自社パネル会員の個人情報やクラウドパネルとして他社から委託を受けたアンケート配信先情報（暗号化されたメールアドレス）を保有しており、それらの情報が流出するリスクがあります。当該リスクに対し、当社グループは、情報セキュリティに関する規程の策定、情報セキュリティに関する研修・教育の実施等のほか、ISMSの認証取得やプライバシーマークの取得等の取り組みを行っております。詳細について次頁を参照ください。
	常時		

# 情報セキュリティ・プライバシー保護等

- 個人情報や情報セキュリティに関するリスクに関して、それらを保護するためのセキュリティ及びプライバシー・個人情報保護等への取り組みを行っております。

## セキュリティの安全性

### ■ 認証

外部からの脅威に対するリスクアセスメントを実施し、総合的な情報セキュリティを確保するため、ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）認証基準の国際規格「ISO/IEC 27001:2013」および国内規格「JIS Q 27001:2014」の認証を取得。



MSA-IS-430



ISMS-AC  
ISMS ISR016

### ■ 脆弱性対応

業界標準のツールによる脆弱性の試験を実施するほか、外部機関による定期的な脆弱性診断を実施。JPCERT等の情報を常に確認し、その影響を考慮した上でパッチ等を適用している。

### ■ アクセス制御

システムやアプリケーションへのアクセスは、許可された人員のみ許可された作業を実施できるよう制限をかけている。

### ■ 通信のセキュリティ

アンケート及びモニター向けサイトはHTTPS（TLS）を利用し、セキュリティを確保しています。ファイアウォール/ロードバランサーにより必要な通信のみを許可している。

## プライバシー・個人情報保護

### ■ 認証

法律への適合性およびより高い保護レベルの個人情報保護マネジメントシステムを確立・運用することを目的としてプライバシーマークを取得。



10822793

### ■ パーミッション取得

個人情報を取得するときは、パーミッションをいただく等、法令・規制の要請を踏まえた対応を行っている。

想いを、世界に — GMOリサーチ

**GMO** RESEARCH

Engaging people around the world

本資料につきましては、毎事業年度末後3ヵ月以内、具体的には3月頃に最新の状況を反映した内容で開示することを予定しております。経営指標の進捗状況につきましては、四半期ごとの決算説明資料において説明をいたします。

本資料、および本説明会における質疑応答などにおける市場予測や業績見通しなどの内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであります。従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを、あらかじめご承知おきください。